

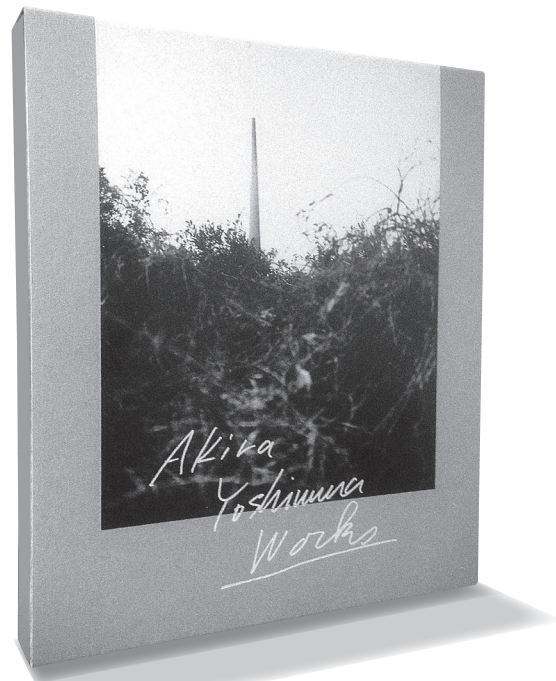
Akira Yoshimura Works

—— 吉村朗写真集

吉村 朗 [写真]

深川雅文・湊 雅博・山崎弘義 [編]

吉村が挑んだ“新たな物語”のための写真 — それは、まさに実験であった(深川雅文「闇の光 吉村朗の軌跡」より)。1980年代半ばより都市のスナップ写真家として脚光を浴びた後、1990年代に大きく作風を変え、日本近代という怪物をめぐる自己の実存と歴史のあり方を重ね合わせ問い掛ける問題作を発表し、内外の注目を集めた吉村朗。馴化されず、媚を売らず、自らの道突き進んだ、孤高の写真家の待望の作品集、遂に刊行!



目次

■分水嶺 / The River

■闇の呼ぶ声 / Dark Calls

■新物語 / New Story

■ジェノグラム / Genogram

■Akira YOSHIMURA

1994-2001

Recent Works

参考資料

解説 「闇の光 吉村朗の軌跡」 深川雅文

英文抄訳 Traces of Akira Yoshimura (1959-2012)

独文抄訳 Auf den Spuren von Akira Yoshimura (1959-2012)

仏文抄訳 L'itinéraire d' Akira Yoshimura (1959-2012)

作品データ / 展覧会 / 掲載・著書・コレクション / 略歴

写真家プロフィール

吉村 朗 (よしむら・あきら)

写真家。1959年6月3日、福岡県門司市(現・北九州市門司区)に生まれる。本名は吉村晃(1991年頃、朗に改名[通称])。1978年3月、福岡県立門司高等学校卒業。同年4月、日本大学芸術学部写真学科入学。1982年3月、同卒業。同年4月、東京総合写真専門学校研究科入学。1984年3月、同卒業。1980年代半ばより、都市のスナップ写真家として脚光を浴び、その後、歴史的事象を追った諸作品を発表して注目を集める。主な写真展に、「分水嶺」(銀座ニコンサロン、1995年)、「新物語」(「現代写真の母型1999 IV 鈴木理策/吉村朗」川崎市市民ミュージアム、2000年)、「u-se-mo-no」(イカズチ、2004年)、写真集に、『SPIN』(Mole、1999年)がある。2012年6月2日、逝去。

編者プロフィール

深川雅文 (ふかがわ・まさふみ)

1958年佐賀県生まれ。キュレーター。

湊 雅博 (みなと・まさひろ)

1947年東京都生まれ。写真家。

山崎弘義 (やまざき・ひろよし)

1956年埼玉県生まれ。写真家。

ご注文申込書

●貴店名 / 帖舎

●注文数

●発行

大隅書店 〒520-0242 滋賀県大津市本堅田5-16-12 コマザワビル 505号
TEL:077-574-7152 <http://ohsumishoten.com/>

吉村 朗 [写真] / 深川雅文・湊 雅博・山崎弘義 [編]

Akira Yoshimura Works — 吉村朗写真集 —

B4変形判 / 上製本 / 320頁 /

スリーブケース入り / 300×260×33mm 定価(本体6,000円+税)

ISBN 978-4-905328-07-0 C0072

●ご注文は、JRCへ FAX. 03-3294-2177